

中長期的な視点に立った 多対多型産学官連携モデル

民間研究資金による共同研究数は増加してきている。それらの多くは、製品が現存するか、あるいは製品コンセプトが明確なセグメントで、トラブル解決、改良改善、低コスト化、高機能化を目的とする1対1の産学連携共同研究が中心である。まだ市場が形成されていない新規製品・サービスを目指すセグメントで産学官連携を起こすにはどうするか。そのためには、中長期的視点に立った次世代に向けたイノベーション創出と人材育成を産学官が強力に進める必要があり、それに相応しい産学官連携モデルの構築と普及が期待される。

日時／
2012年2月29日(水)
13:00~17:30

会場／
東京大学 山上会館
2階 大会議室

プログラム

司会／峯崎 裕(東京大学産学連携本部知的財産部 知的財産統括主幹)

開会挨拶 (13:00~13:05) 松本 洋一郎(東京大学理事(副学長))

<第1部> 産学連携に関する施策 (13:05~13:35) 里見 朋香(文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・地域支援課 課長)
進藤 秀夫(経済産業省産業技術環境局大学連携推進課 課長)

課題の提起と本日のシンポジウムの構成 (13:35~13:55)
太田 与洋(東京大学産学連携本部 教授)

<第2部> 現状モデルの紹介(長所と課題)

①民間資金ベースによる方式 (13:55~14:45)

- ・『東大グリーンICTプロジェクト』 江崎 浩(東京大学大学院情報理工学系研究科 教授)
- ・『有機系エレクトロニクス・デバイス(京大アライアンス)』

中村 友久(三菱化学株式会社経営戦略部門RD戦略室 部長)

【休憩(14:45~15:00)】

②公的資金ベースによる方式 (15:00~15:50)

- ・『ナノフォトン学総合的展開』 大津 元一(東京大学大学院工学系研究科 教授)
- ・『ナノファイバーイノベーション創出』 谷岡 明彦(東京工業大学大学院理工学研究科 教授)

<第3部> パネルディスカッション (15:50~17:25)

『米国大学調査に基づく中長期的視点に立った基礎・基盤分野に配慮した
複数企業との産学官連携モデル検討の提案』

増位 庄一(東京大学産学連携本部産学連携研究推進部 Proprius21プログラムオフィサー)
コメンテーター／ 追田 武雄(東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻ERATO香取創時空間プロジェクト 研究推進主任)
高野 公史(株式会社日立グローバルストレージテクノロジーズ日本研究所 所長)
木下 明生(日産自動車株式会社総合研究所研究企画部 部長)
中村 友久(三菱化学株式会社経営戦略部門RD戦略室 部長)

閉会挨拶 (17:25~17:30) 保立 和夫(東京大学産学連携本部 本部長)

交流会 (17:30~19:30)

定 員 150名 事前登録制 参加費 シンポジウム:無料/交流会:3,000円

お申込み 2月20日(月)までにお申込みください

下記ウェブサイトの申込フォームに必要事項を入力してお申込みください。

http://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/jp/event/120229_symposium.html

主催/国立大学法人東京大学 産学連携本部



会場案内図▶ http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html

お問い合わせ

国立大学法人東京大学 産学連携本部

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 産学連携プラザ
TEL:03-5841-1498 E-mail:sympo2012@ducr.u-tokyo.ac.jp